

# 中西レオ

礼  
皇



## 市民の力を県政に!

立憲民主党

## 人口増加策

**制度とマインド(意識)**  
 兵庫県は2017年に人口が約1万7千人減りました。少子高齢化を原因とする面もありますが、若者の東京志向も原因に挙げられます。

東京に行かずとも、地元で大学や働く場があることは重要で、それを確保することは必要です。しかし「より稼げ」「東京が上」という中央の価値観に振り回されず、地方で心豊かに暮らす価値を見つけられる人を育てることも重要です。

「男性の育休」「残業規制」などの制度を充実しても今は現実味が無いことと同じで、地方を制度面で支えても、マインドを変えなければ効果を得られません。

**外国人観光客を  
取り込めていない兵庫県**  
 訪日外国人観光客(インバウンド)は年間3119万人を超え、消費額は4.5兆円となりました。しかし、兵庫県に訪れる人は少なく、十分に取り込めていません。

18年1月〜9月の訪日外国人数が大阪府850万人、京都府592万人、奈良県205万人に対し、兵庫県140万人であり、大阪府と兵庫県では6倍超の差があります。

消費額では更に差が大きく、大阪府6100億円、京都府2000億円に対し、兵庫県は442億円であり14倍もの差があります。

(出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

## 観光(外国人旅行者)

**大規模主義からゲリラ戦へ**  
 観光振興となると、姫路城や神戸ビーフといった目玉素材に偏りがちですが、大阪や京都が先行している現状では、小さくとも個性的な素材を数多く打ち出すことが必要です。例えば、5日間深夜まで踊る淡路島の沼島盆踊りや、香美町小代(おじろ)の温泉育ちスッポンとキャビア、明石の布団太鼓や明石音頭といった地域密着で他にない素材を打ち出しましょう。既に東京や京都大阪の有名観光地は体験済みの外国人が多く、より地域色のある素材が求められています。

流行を追いかけるのでなく、これから見越して取り組み、流行を創り出しましょう。

## 次のステージへ! 3つの課題と15の公約

### 中西レオ15の重点公約

- ① 観光資源の発掘・育成
- ② あらゆる世代の起業促進
- ③ 農林水産業の就労、販路、広報支援
- ④ サイクルステーション等の  
自転車・バイク環境整備
- ⑤ 明石港砂利揚げ場跡および水産物分場周辺の再整備
- ⑥ 県内病院の勤務医の地域偏在対策
- ⑦ 学校教員の業務効率化
- ⑧ 現在の教育環境に応じた人材の採用・育成
- ⑨ 隔たりのないインクルーシブ社会の推進
- ⑩ 青少年健全育成のための規制強化
- ⑪ こども家庭センター(児童相談所)の体制強化
- ⑫ 駅前を中心とした路上喫煙禁止の推進
- ⑬ 生き方改革の啓発・推進
- ⑭ 議員の活動報告の更なる充実
- ⑮ 他自治体の議員・首長との連携・協力



**「知らない↓興味ない」  
の悪循環**

「県はなにしているか分からない」と言われます。「伝わらない↓興味ない↓伝わらない」の悪循環に陥っています。ニュースになるのは政務活動費などの不祥事ばかりで、役割や取り組みは伝わっていません。

県民が興味を持たなければ、「引退・落選議員が2ヶ月居続ける震災特例」が24年続いたように、課題が先送りされます。

## 議会改革

また、明石公園陸上競技場は日本陸連の第二種公認競技場でしたが、昨年に第三種に格下げとなりました。第三種では選手権大会等の大きな大会が開催できなくなりました。議員は自身のPRだけでなく、課題もしっかり発信する責任があります。

それぞれの議員が情報発信することで、県民の関心が高まり、議会としても情報発信を一層励むと考えます。議会改革のためには議員改革です。